

■地域名 辰野町沢底 地区 沢底

■特徴的な被害対策 特用林産物の被害防止対策

1 地域の概要

受益戸数	加害鳥獣	被害農作物等	備考
140	イノシシ・ニホンジカ	マツタケ	

2 実施した被害対策の内容

区分	実施に当たって工夫等したポイント	
これまでの経過	<ul style="list-style-type: none"> ・イノシシによるマツタケのしらの破壊が増えてきた。シカの食害も見受けられる。 ・平成 20 年 8 月に諏訪で行われた「マツタケ生産振興全国交流長野大会」に参加し、現地訪後山で設置されているシカ防護柵を見て沢底地区で実施したいと計画する。 ・平成 22 年 1 月沢底区長、同生産森林組合長から「茸山の猪網設置に係る補助金交付の陳情書」が提出される。 ・区の代表者、生林組合との打合せ、現場確認を行う。 ・当初、林務での事業を検討していたが、見通しが立たず農政交付金「鳥獣被害防止総合対策事業」(H22)で実施。 ・22 年 2 月～防護柵の設置調査等を行う。 	
被害対策	◇生息環境対策	緩衝帯整備 3.7 ha(野生鳥獣総合管理対策事業)
	◇防除対策	<ul style="list-style-type: none"> ・8月～地区住民らによる設置作業が始まり、9月中旬に作業完了。 ・マツタケ発生地に 22 箇所 約 20ha 防護柵設置 7,800 m 事業費 5,250 千円
	◇捕獲対策	シカ広域捕獲の実施、ワナの設置(シカ捕獲伝承事業)
効果	被害状況	防護柵を設置した今年は、発生量が多いにも関わらず、一部被害があったもののほぼ被害は防げた。
	その他特記事項	23 年度以降も引き続き要望が上がっている。
農家の方からのコメント	自ら設置することで大変な労力がかかったが、被害が激減したことは喜ばしい	

3 これからの課題

失敗した事柄	・マツタケ被害防除での対策であったが、他の被害も視野に入れ地域を総括しての取り組みも必要だったと思う
これからの課題	<ul style="list-style-type: none"> ・防護柵の今後の維持管理 当該地区以外でのマツタケ被害防止を継続して進められるか。まだサルが生息地域ではないが、サルが侵入した場合どのような対策を講じるのか。

4 成功に至ったポイント

野生鳥獣被害対策支援チーム	当事業では、地域住民の中心的な役割な方が役場OBであり、そのOBとの関わりにより対策がスムーズに行われた。行われた。やはりキーマンの方の存在が欠か必要である。
---------------	---